

校訓
学校教育目標

真善美

心身ともに健康でたくましく、課題を追究する力を身につけた、
未来社会を担うことができる生徒の育成

令和6年度
第9号

長崎市立片淵中学校

申 城ノ古址

R6.7.6

校長 修行 勝則

長崎っ子の心を見つめる教育週間の主な教育活動

7月1日（月）～7月6日（土）の一週間を「教育週間」に位置づけ、様々な教育活動を実施しました。その一部を紹介します。

薬物乱用防止教室・スクール救命講習会（7月3日）

2年生を対象に薬物乱用防止教室、1年生を対象にスクール救命講習会を実施しました。救命講習会では、中央消防署から講師をお招きし救急の理論と共に、全員がトレーニングキットを使った実践的な講習を行いました。



被爆体験講話（7月5日）

今年8月9日の平和祈念式典で被爆者の代表として「平和の誓い」を述べられる三瀬清一朗さんをお招きし、被爆体験講話を実施しました。講話の最後に「平和は人類共通の世界遺産です。この遺産を残すためにはコミュニケーション（話し合い）が大切」という言葉で締めくくられました。子どもたちは、改めて戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさを知るとともに、被爆地ナガサキに生きるものとして被爆者の思いを継承していく意識を高めることができました。また、生徒代表のお礼の言葉では、「自分たちができる身近な平和から実践していきたい」と決意を述べました。



道徳公開授業・教育講演会・七夕笹飾り（7月6日 土曜授業）

「生命の尊重」をテーマに全学級で道徳の公開授業を実施しました。各学年の発達段階に応じた題材で「命」や「生きること」について考える貴重な時間でした。また、教育講演会は、スポーツトレーナーの三根秀明さんによる「心と体のストレッチ」をテーマに実技を取り入れた具体的な健康法（深い呼吸の重要性等）について学ぶことができました。

